

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
府営住宅樺島団地(仮称)

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.9</b>	0.15	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>1.1 騒音</b>				<b>3.0</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.50	
1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50	
2 設備騒音対策				-	-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.49	<b>3.9</b>	0.50	
1 開口部遮音性能				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能				-	-	<b>4.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>4.0</b>	0.20	
<b>1.3 吸音</b>				<b>1.0</b>	0.02	-	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.9</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>2.1 室温制御</b>				<b>2.8</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00	
1 室温				<b>3.0</b>	0.94	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				-	-	<b>3.0</b>	1.00	
4 ゾーン別制御性				<b>1.0</b>	0.06	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>1.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>				<b>1.0</b>	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光率				-	-	<b>5.0</b>	0.51	
2 方位別開口				-	-	<b>3.0</b>	0.27	
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.22	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>1.0</b>	0.15	
<b>3.4 照明制御</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.9</b>
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>5.0</b>	0.59	<b>5.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		床・壁・天井・天井裏のほぼ全面に告示対象外・F	を採	<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>2.0</b>	0.39	<b>2.3</b>	0.38	
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				<b>1.0</b>	0.50	<b>1.0</b>	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>5.0</b>	0.02	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-	-	-	
2 喫煙の制御		該当施設部分は禁煙を実施予定。		<b>5.0</b>	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.5</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.09	
2 高度情報通信設備対応				-	-	<b>3.0</b>	0.91	
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース				<b>3.0</b>	-	-	-	
3 内装計画				<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.31	-	-	<b>3.1</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
1 耐震性				<b>3.0</b>	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.6</b>	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能評価で等級3を取得。		<b>5.0</b>	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		浴室系統にステンレス製ダクトを使用		<b>4.0</b>	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管・SGP-VA、架橋ポリエチレン管、排水管・D-VA		<b>5.0</b>	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.23	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.19	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.4	0.03	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.50	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		2.0	0.50	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.03	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.94	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑地を多く設け、ウッドデッキ部分には京都府内産材を採用する。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	広場や集会場を地域に開放する。	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地を多く設ける。又舗装部分のほぼ全面に保水透水材を採用。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制		住宅性能評価で等級3を取得。	3.1	0.39	-	-	3.1
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネル設置	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			3.0	0.39	-	-	3.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=48.8%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			2.8		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.02	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.97	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.03	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.22	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		1.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物と同等	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.67	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.6	0.33	-	-	
1	雨水排水負荷低減	約130立米の雨水貯留を実施。かつ舗装は保水透水材を採用。	4.0	0.33	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な数の駐車場・駐輪場を設置。	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	